



6月11日に行われた大阪桐蔭戦で力投するエース福林海斗投手(3年)

# 皇學館 学園報

デジタル版  
第2号  
令和4年7月

## 創立百四十周年・再興六十周年記念行事 高校野球部が強豪3校と招待試合

大阪桐蔭 横浜 智辯学園



大阪桐蔭高校、横浜高校、本校との記念撮影(6月11日)



2日目は智辯学園高校、横浜高校、本校とで試合が行われた(6月12日)



横浜高校戦での笹木椋介選手(2年)

創立百四十周年・再興六十周年記念行事として皇學館高校野球部が大阪桐蔭高校・横浜高校・智辯学園高校の3校を迎え、6月11日、12日にダイムスタジアム伊勢球場で招待試合を行った。

**下半身強化が奏功  
強豪校相手に粘りの打線**

今年で創部20年を迎える皇學館高校野球部が6月11日、12日の両日、大阪桐蔭高校(大阪)、横浜高校(神奈川)、智辯学園高校(奈良)の強豪を相手に創立百四十周年・再興六十周年記念行事として招待試合を行った。

3試合開催される予定だった11日は雨天のため皇學館高校と春のセンバツ覇者である大阪桐蔭高校との一試合のみ実施。12日は天候が回復し、

全3試合を催行した。大阪桐蔭戦は8対12、横浜戦は4対14、智辯学園戦は10対16といずれも負けを喫したものの、大阪桐蔭戦では相手を上回る安打数を放つなど、打撃が好調で、うちの良さを出した場面もあった」と井出宏監督。室内練習場が完成して以来(学園報86号4面参照)、天候に左右されることなく練習でき、50mの距離を歩く30種目の徹底した下半身強化メニューに取り組んできた成果といえる。

**7月8日から県予選  
めざすは甲子園出場**

全国屈指の3校と対戦する貴重な機会を得た今回、主将の西村泰知さんは「強豪チームは体の大きさや声の一体感、プレー一つひとつの細かなこだわりなど見習うべきところがたくさんあった。ただ、自分たちも勢いがあり、どこからでも点を取りにいける長所がある。無駄なエラーや四球が多かった点をもっと取り組むことでこれらの課題を克服していきたい」と話した。その上で「今までやってきたことを信じて、支えてくださるすべての人に結果を通して恩返ししたい。必ず甲子園に行きます」ときっぱり。

仲間のナイスプレーに歓声を上げる部員たち



### 三重県学生野球リーグで活躍した 13名が強化遠征に参加 大学硬式野球部

今春の三重県リーグ戦で7季連続優勝を決めた本学硬式野球部。このほど、部員13名が三重県学生野球リーグによる強化遠征選手に選ばれ、7月2、3日に岡山・倉敷マスカットスタジアムで開催された四国地区・中国地区大学野球連盟との交流戦に臨んだ。

この強化遠征は三重県学生野球リーグが同リーグのレベル向上をめざし今年から実施するもの。県内5つの大学・高専(本学、鈴鹿大、四日市大、三重大、近大高専)から35人が選抜され、本学は春季三重

県リーグ最優秀選手の大野凌児内野手(教育4)や本塁打王の村田怜音内野手(教育3)、リーグ最優秀投手の江南怜投手(教育3)ら13名がメンバー入りした。

遠征を終え、7月3日に岡山から帰郷した部員たち。大野選手は「四国・中国選抜と試合ができ、力の差を痛感した。自分が感じた課題をチームで共有し、全国大会出場に向け頑張りたい」と刺激になったことを語った。選抜メンバーは8月に岐阜県で開催のJABA高山市長旗大会にも参加する予定だ。

三重県リーグ選抜メンバー

◆投手	北川 寿頼(コミ4・名張)
江南 怜(教育3・津商業)	加藤 究郷(現日3・中央学院大学附属中京)
佐野 瑠勇(教育2・神戸)	◆捕手
中村 歩睦(教育4・鳴門)	床辺翔太郎(教育2・皇學館)
◆内野手	大野 凌児(教育4・松阪商業)
大田 陸翔(教育4・津商業)	井田 翔斗(教育3・津商業)
村田 怜音(教育3・相可)	◆外野手
岡田 颯平(教育4・滝川第二)	三輪 真弘(教育4・海星)
◆DH	中川 聖也(現日3・菟野)



三重県選抜チームのユニフォームを着用したメンバー

**皇學館クラブ応援  
メッセージ募金**

皇學館クラブ応援メッセージ募金はこちらからお申込みいただけます。

## 男子は国際武道大学に完勝! 女子は優秀校表彰 全日本学生柔道優勝大会

優秀校に選ばれた。本田凌万選手(現日4)は「今回は悔しい結果となったが、次に向かって頑張っていきたい」と気持ち

6月25、26日に日本武道館で開催された全日本学生柔道優勝大会(男子71回・女子31回)。本学柔道部は男子が初戦の相手である関東代表の国際武道大学を4対0で破り2回戦進出。2回戦では同大会3位の日本体育大学に善戦の末、惜しくも敗れた。3人制に2人(寺本みやび選手(現日4)・高橋麻莉弥選手(教育4))で挑んだ女子は1勝してベスト8に残り、



原沢選手の教えにじっと耳を傾ける部員たち

だいた。トッ プアスリート の教え、悔しさを糧に、今日も鍛錬に励む。

を切り替え、早くも次の大会へ向けて闘志を燃やす。なお、同大会を控えた6月17日にはリオオリンピック リンピック銀メダリスト、東京オリンピック男子100kg超級5位入賞の原沢久喜選手を本学にお招きし、ご自身の学生時代の体験談や試合への心構えを語っていた。



賞状を手に喜びの表情を見せる高橋選手(左)と寺本選手(右)

## 全日本大学駅伝に6年連続出場!

皇學館大学駅伝競走部



6年連続6回目の出場権を獲得し喜びメンバーたち

### 第54回全日本大学駅伝東海地区選考会 総合結果

順位	大学名	時間	備考
1位	皇學館大学	4時間07分34秒91	選考会歴代3位 6月開催歴代1位
2位	愛知工業大学	4時間07分49秒37	選考会歴代4位 6月開催歴代2位
3位	名古屋大学	4時間09分09秒00	選考会歴代5位 6月開催歴代3位
4位	岐阜協立大学	4時間10分11秒09	選考会歴代7位 6月開催歴代4位
5位	中京大学	4時間13分31秒03	

組	順位	選手名(学年)	時間
1組	1位	毛利 昂太(国史2)	30分31秒20
	2位	浦瀬 晃太朗(現日2)	31分16秒74
2組	2位	岩島 昇汰(国史2)	30分53秒62
	5位	笹竹 陽希(教育4)	31分03秒24
3組	2位	矢田 大誠(教育3)	30分47秒00
	6位	中川 雄斗(コミ2)	31分15秒61
4組	7位	松野 颯斗(現日3)	30分34秒13
	11位	柴田 龍一(現日4)	31分13秒37

第54回全日本大学駅伝対校選手権大会・東海地区選考会が6月18日、愛知県岡崎市のマルヤス岡崎龍北スタジアムで行われ、本学駅伝競走部が総合タイム4時間7分34秒91で見事1位となり、6年連続6回目の出場を決めた。

有観客となった今年の選考会には三重・愛知・岐阜・静岡から14大学が参加した。10000mを全4組(各組1チーム2名)が

走り、8名の合計タイム上位2校までが11月6日(日)に行われる全日本大学駅伝への切符を手にする。

中川雄斗選手(コミ2)が6位と踏ん張った。各校の主力選手が熱戦を繰り広げた最終4組は松野颯斗選手(現日3)が7位、柴田龍一選手(現日4)が11位でゴール。総合タイム(4時間7分34秒91)で2位の愛知工業大学に15秒差を付け、6年連続6回目の出場権を獲得した。

### これまでで最も厚い選手層

「成績云々より、まずはホッとした」と日比勝俊監督。コロナ禍の中、クラブ合宿所で生活する選手にとっては直前まで気の休まらない日が続いた。大会3日前にメンバーが怪我を負うハプニングもあり、今回のトップ通過に「部員一同の辛抱、周囲の支えが形になって本当に良かった」と胸を撫で下ろす。同時に、「これまでで最も選手層が厚い」と自信をのぞかせた。

中川選手は「チームの状況やいろいろな問題が重なり苦しかったが何とか踏ん張り、また、皆さんのご支援があったからこそ頑張れた。正直、もつと上をめざせたと考えている。この思いを胸に、本番では関東、関西勢に挑みたい」と力強く語った。11月6日の本大会まであと4カ月弱。熱田神宮から伊勢神宮まで、8区間106.8キロの熱い走りに期待したい。

## コントラバス 大西梓菜さんが ストリングアベニュー国際コンクール 受賞者コンサートに出演

世界的コントラバス奏者をめざす大西さん  
昨年、ストリングアベニュー国際コンクール・オータム2021のコントラバス17〜18歳部門で1位を受賞した皇學館高校3年の大西梓菜さん(吹奏楽部所属)がポージランドで開催された同コンクールの受賞者コンサートに出演。ザブジェ国立管弦楽団との共演も果たし、7月8日に帰国した。詳細は学園報92号(9月26日発行予定)にて掲載する。



● イベントのご案内 ●

### 中・高・大合同 皇學館 DAY 2022

皇學館高等学校吹奏楽部 第15回 定期演奏会 & 学校相談会

9月19日(月・祝) 三重県文化会館 大ホール(津市)

- ◆ 学校相談会(無料) 14:00~16:00
- ◆ 第15回 定期演奏会(入場料 1,000円)

開場 15:00 開演 16:00~18:30(終了予定)

詳細は、皇學館高校ホームページにてご確認ください。  
<https://www.kogakkan-h.jp>

## 写真部、バドミントン部、 陸上部が全国へ!

皇學館高校写真部2名の作品が第46全国高等学校総合文化祭東京大会に、バドミントン部、陸上部が「躍動の青い力四国総体2022」に出場することが決まった。各大会の主な成績は以下の通り。

**写真部**  
第42回 秋季写真コンテスト  
(昨年11月7日) 銀賞 奥田 春斗

第40回 新人写真コンテスト  
(今年1月22日) 金賞 竹本 紘子

**バドミントン部**  
令和4年度 三重県高校バドミントン選手権大会  
兼全国及び東海高校総体県予選(5月4日・8日)

● 女子1部

優勝	吉居 要	澤原 黎
準優勝	梅本 りずむ	荒木 宥羅
第3位	森田 彩音	牧 紗花
第3位	前田 愛心	吉居 鼓

● 男子1部

準優勝	坂本 大芽
-----	-------

**陸上部** (6月17日~19日)  
第69回 東海高等学校総合体育大会

女子フィールド得点	第3位
女子棒高跳	第1位 白井 滯奈
女子棒高跳	第1位 海老原有緯子
男子110mH	第1位 打田 快生
女子三段跳	第4位 土井 なつみ
男子棒高跳	第5位 田中 大智
女子走幅跳	第5位 浅井 琥桃
男子三段跳	第6位 中山 竣介
男子110mH	第6位 河北 柊真

**水泳一校外活動一** (6月25日)  
令和4年度 三重県高等学校選手権水泳競技大会

男子 200m 平泳ぎ	第1位 山本 至竜
-------------	-----------